

主要装備

消防活動には、緊急車両と積載されている各種の資機材が必要不可欠です。

緊急車両は『地域住民の財産』であり、私たち『消防士の大切な仲間』です。

ここでは主な緊急車両を紹介します。 ※（内は通称です。）

消防ポンプ自動車 CD-1 型（ポンプ車）



- 警防活動の基本となる車両です。救助工作車やタンク車のような大型車両ではありませんが小回りが利き、強力なポンプによる吸水と放水が可能です。
- 主な出動：火災出動・救急出動・特命出動

主要諸元

排気量	4,000 cc
乗車定員	5名
消防ポンプ能力	A-2級
最大吐水能力	2,350 リットル/分
最大泡放射量	3,800 リットル/分（CAFS 搭載車両）
積載水	600 リットル
積載資機材	三連はしご・消防ホース（約 30 本）・空気呼吸器 発動発電機・ホースカー・ガンタイプノズルなど
配備署所	葦崎消防署・須玉分署・白州分署 北杜消防署・高根分署・小淵沢分署

水槽付消防ポンプ自動車 I-A型（みずいち）



- CD-1型と同じく警防活動の基本となる車両です。1,500リットルの積載水と圧縮空気泡消火装置と強力なポンプで、効果的な消火活動を遂行します。
- 主な出動：火災出動・救急出動・特命出動

主要諸元

排気量	6,400 cc
乗車定員	6名
消防ポンプ能力	A-2級
最大吐水能力	2,150 リットル/分
最大泡放射量	3,600 リットル/分
積載水	1,500 リットル
積載資機材	三連はしご・消防ホース（約30本）・空気呼吸器 発動発電機・ホースカー・ガンタイプノズルなど
配備署所	双葉分署

小型動力ポンプ付水槽車（タンク）



- 5,000 リットルの水を積載し、車両後部の小型動力ポンプにより放水します。市街地の火災だけでなく、消火栓や防火水槽などの有効な水利が少ない地域での消火活動で、特に活躍します。
- ポンプ車とペアで出動し、火災現場でタンクに給水を受けながら積載水を放水するなど、非常に高い連携力を発揮します。
- 主な出動：火災出動・救急出動・特命出動

主要諸元

排気量	7,960 cc
乗車定員	3名
小型動力ポンプ能力	B-2 級
最大吐水能力	1,290 リットル/分
積載水	5,000 リットル
積載資機材	消防ホース（約 20 本）・吸管・空気呼吸器・発動発電機 ラインプロポーションナー・ガンタイプノズルなど
配備署所	葦崎消防署・北杜消防署

化学消防自動車（かがく）



- 消火用薬剤タンクを積載し、水と混合させた強力な泡により窒息消火を行います。通常の火災だけでなく、特に危険物施設の火災や車両火災、タイヤなどの石油製品の火災に有効です。
- 危険物火災など火勢が強い火災に出動するため、自衛噴霧装置が装備され車両の周りに霧状に放水しボディを輻射熱から守ります。車両上部には大型の放水銃が装備され遠距離からの高圧放水が可能です。
- 主な出動：火災出動（油系火災）・特命出動

主要諸元

排気量	7,960 cc
乗車定員	7名
ポンプ能力	A-1級
最大吐水能力	2,900 リットル/分
積載水	1,300 リットル
消火薬槽	500 リットル（B火災）
積載資機材	耐熱服・消防ホース（約30本）・空気呼吸器 高発泡ノズル・ガンタイプノズルなど
配備署所	葦崎消防署

先端屈折式はしご付消防自動車（はしご）





- 最大地上高 35 メートルの先端屈折式はしごには、水路管が装備されているためポンプ車などから送水し、バスケット先端の放水ノズルから高層階への放水が可能です。
- 救助隊やポンプ隊の三連はしごで救出が困難な、地上 3 階以上の建物からバスケットやリフターを使用し要救助者を救出します。はしご先端（約 2.5 メートル部分）が屈折するため、バルコニーや屋上へバスケットをアクセスさせやすく、安全に要救助者を救出することが可能です。
- 自衛噴霧装置が装備されているため、高層階からの救出・放水中でも周囲の輻射熱から要救助者・隊員を保護することができます。
- はしごの角度は、マイナス 10 度まで伏梯することができるので、河川や低地からの救出にも活躍します。
- 主な出動：火災出動・救助出動

主要諸元

排気量	8,860 cc
乗車定員	6 名
最大吐水能力（水路管結合時）	2,000 リットル／分
はしご連数	5 連
はしご長さ	全伸長 34.6 メートル（全短縮 10.6 メートル）
起伏角度	-10 度 ~ 75 度
最大地上高（起梯 75 度・全伸長）	35.3 メートル
先端屈折装置	約 2.5 メートル・屈折角 80 度
バスケット最大許容積載荷重	4,000 ニュートン（約 400 キログラム）
リフター最大許容荷重	3,000 ニュートン（約 300 キログラム：定員 3 名）
積載資機材	消防ホース（約 20 本）・空気呼吸器など
配備署所	葦崎消防署

救助工作車（きゅうこう・こうさく・R）

- 300種類以上の救助資機材を積載し、車両後方に小型クレーン、前後にウインチを装備する救助活動に必要不可欠な車両です。夜間の救助・消火活動では、車両上部の強力な投光器を起動させ、災害現場の安全を確保します。
- 積載する救助資機材を使用し、事故車両の拡張・開放、重量物の排除、狭隘空間の拡張、高所・低所からの救助、圧縮や切断など破壊による救助、水難救助など、非常に多くの救助活動を完遂します。
- 主な出動：救助出動・火災出動

救助工作車 III型



主要諸元

排気量	6,400 cc
乗車定員	6名
クレーン最大荷重	最大 2.93 トン（ジブ全縮・アウトリガ最大張出）
フロントウインチ牽引能力	最大 5.0 トン
リアウインチ牽引能力	最大 5.0 トン
上部投光器性能	最大揚程約 5 メートル・超高輝度 LED 光源 4,000W 上下旋回：上向き 180 度・左右 180 度
積載資機材	空気呼吸器・救助用ロープ・ロープアタッチメント器具 大型油圧救助資機材・重量物排除資機材・救助用支柱 圧縮空気式破壊器具・酸素溶断機など（300 種類以上）
配備署所	葦崎消防署

救助工作車 II型



主要諸元

排気量	5,120 cc
乗車定員	6名
クレーン最大荷重	2.93トン（ジブ全縮・アウトリガ最大張出）
フロントウインチ牽引能力	最大5.0トン
リアウインチ牽引能力	最大5.0トン
上部投光器性能	最大揚程約5メートル・超高輝度LED光源6,000W 上下旋回：上向き180度・左右180度
積載資機材	空気呼吸器・救助用ロープ・ロープアタッチメント器具 大型油圧救助資機材・重量物排除資機材・救助用支柱 圧縮空気式破壊器具・酸素溶断機など（300種類以上）
配備署所	北杜消防署

高規格救急自動車（きゅうきゅう）

- 非常用も含め 9 台ある救急自動車は、全て高規格救急自動車です。
- 救急救命士を含め 3 名で出動します。車内後部の患者室は、気管挿管や静脈路確保など、救急救命士による救急救命処置のためのスペースが広くとられています。
- 主な出動：救急出動・火災出動

積載資機材

除細動器（AED）・患者監視装置・人工呼吸器・酸素吸入器
吸引器・気道確保資機材・静脈路確保資機材・外傷セット
薬剤（乳酸リンゲル液・アドレナリン・ブドウ糖溶液）
バックボード・分娩セット・ストレッチャーなど

高規格救急自動車（キャブオーバー型）



主要諸元

排気量	2,480 cc
乗車定員	7 名
配備署所	葦崎消防署 1 号車 白州分署 双葉分署 高根分署

高規格救急自動車（ボンネット型）



主要諸元

排気量	3,490 cc
乗車定員	7 名
配備署所	葦崎消防署 2 号車 北杜消防署 須玉分署 小淵沢分署 非常用救急車 (消防課)

指揮車（しき）

- 複数部隊が出動する現場や、二次災害発生の恐れが高い災害現場に出動し、現場指揮本部設置、現場の統制や情報収集、安全管理などを行います。

葦崎消防署指揮車



主要諸元

排気量	4,600 cc
乗車定員	5名
配備署所	葦崎消防署

北杜消防署指揮車



主要諸元

排気量	1,990 cc
乗車定員	5名
配備署所	北杜消防署

資機材搬送車（トラック・ほろつき）

- 災害現場に資機材を投入する場合に出動し、必要な資機材などを搬送します。



主要諸元

排気量	2,980 cc
乗車定員	3名
最大積載量	1.35 トン
配備署所	消防課

支援車 I 型（後方支援・しえん）

- 主に緊急消防援助隊 山梨県大隊の後方支援部隊として出動し、派遣先の被災地で山梨県隊が長期間活動するためのサポートを行います。
- 車幅拡張機能があり、拡張された車内では活動方針検討のための会議や、隊員の一時的な休憩、仮眠などを行うことができます。





主要諸元

排気量	12,910 cc
乗車定員	10名
最大乗車定員	26名（駐車時：拠点として使用）
主な装備	折り畳み指揮台・折り畳みベッド・簡易ベッド 発電発電機・FFヒーター・ガスコンロ・ガス給湯器 冷蔵庫・給水タンク・簡易トイレ・シャワー エアーテント・ルーフ太陽光パネルなど
配備署所	消防課